

名護市津波ハザードマップ(大川区)



津波の恐れがある時には海岸からできるだけ遠く、
できるだけ高い場所へ避難しましょう。

仲尾次

汀間

親川

瀬嵩

田井等

大川

大浦

名護

番越トンネル

500m



凡
例

津波避難場所

土砂災害危険箇所

土砂災害警戒区域

県道

大字界 公共機関

津波浸水深

0.01m以上～0.3m未満

0.3m以上～1.0m未満

1.0m以上～2.0m未満

2.0m以上～5.0m未満

5.0m以上～10.0m未満

10.0m以上～20.0m未満



津波の恐れがある時には海岸からできるだけ遠く、できるだけ高い場所へ避難しましょう。



① 大川区津波避難目標地点1(61m)

アグー村・

久志ジャームイ(28m)・

大川市営住宅(7m)・

血大川公民館(8m)

大浦川

② 大川区津波避難目標地点2(12m)

大川

瀬嵩

0 500m

凡例
津波避難場所
土砂災害危険箇所
土砂災害警戒区域
県道
大字界
公共機関

津波避難場所	海拔 m
① 大川区津波避難目標地点 1	61m
② 大川区津波避難目標地点 2	12m

津波浸水深
0.01m以上～0.3m未満
0.3m以上～1.0m未満
1.0m以上～2.0m未満
2.0m以上～5.0m未満
5.0m以上～10.0m未満
10.0m以上～20.0m未満

ハザードマップの使い方

① ハザードマップの見方

ハザードマップでは、津波浸水場所と水深予測を色分けして表示しています。浸水の目安は下記を参照してください。また、地図内に赤い枠で表記されているエリアは土砂災害危険箇所、緑の枠で表記されているエリアは土砂災害警戒区域を示しています。現在お住まいの周辺で予測される災害状況を踏まえ、安全な避難場所までのルートの選定にご利用ください。

*高潮ハザードマップは浸水深の色分けが津波ハザードマップとは違いますのでご注意ください。

浸水深：0.3~1m
通常行動が困難（動くことはできなくなる）。



浸水深：1~2m
津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が死んでしまう。



浸水深：2~5m
水没状態のほとんどが確実である。



② 避難場所を確認しましょう

それぞれ災害の種別を考慮し、悪天候時や、夜間の視界が悪いことを想定して家族全員で避難場所を確認してください。



③ 避難ルートを地図に記入しましょう

災害の種別による避難場所までの安全なルートを、背面の地図に記入しておきましょう。



④ 避難時の持ち出し品をチェックしましょう

避難時の持ち物チェックリストをもとに事前に準備をしておきましょう。緊急時にすぐに持ち出せるように玄関付近など、保管場所も工夫してみましょう。

避難時の持ち出し品



□ 非常用飲料水
□ 食料(カップ麺・缶詰・乾パン等)
□ 貴重品(現金・通帳・印鑑等)



□ 電中電灯(予備電池)
□ 携帯ラジオ(予備電池)



□ 救急用品(包帯・三角巾・消毒液等)
□ 衣類(シャツ・パンツ等)
□ 帽子



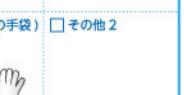
□ マッチやライター
□ 車手(厚手の手袋)
□ 安全ヘルメット



□ その他の備蓄品



□ 小さな子供がいる家庭は(母乳・ミルク等)
□ おむつ・ウェットティッシュ



□ その他の1



□ その他の2

□ その他の3

□ その他の4

□ その他の5

□ その他の6

□ その他の7

□ その他の8

□ その他の9

□ その他の10

□ その他の11

□ その他の12

□ その他の13

□ その他の14

□ その他の15

□ その他の16

□ その他の17

□ その他の18

□ その他の19

□ その他の20

□ その他の21

□ その他の22

□ その他の23

□ その他の24

□ その他の25

□ その他の26

□ その他の27

□ その他の28

□ その他の29

□ その他の30

□ その他の31

□ その他の32

□ その他の33

□ その他の34

□ その他の35

□ その他の36

□ その他の37

□ その他の38

□ その他の39

□ その他の40

□ その他の41

□ その他の42

□ その他の43

□ その他の44

□ その他の45

□ その他の46

□ その他の47

□ その他の48

□ その他の49

□ その他の50

□ その他の51

□ その他の52

□ その他の53

□ その他の54

□ その他の55

